

「シルクロード：長安-天山回廊の交易路網」の登録範囲



Map/C-MAP

構成資産リスト CN=中華人民共和国 KG=キルギス共和国 KZ=カザフスタン共和国

分類	No.	構成資産名	国	概要
中心都市	1	前漢長安城未央宮遺跡	CN	前漢の都・長安の宮殿跡。約4.8km四方の広大な敷地に建てられた
	2	後漢北魏洛陽城	CN	1~6世紀にかけての王朝の都。シルクロードの起点のひとつ
	3	唐長安城大明宮	CN	長安城の3宮殿のうち最大のもの。唐王朝の繁栄の象徴となった
	4	隋唐洛陽城定鼎門	CN	洛陽南側にあるシルクロードへ続く門。唐代のラクダの足跡が残る
	5	高昌故城	CN	トルファン東の東、約30kmにある城跡で古代高昌王国の都
	6	交河故城	CN	BC2世紀~AD14世紀に繁栄。版築で築かれた最古級の都市遺跡
	7	北庭故城	CN	唐代に北庭都護府が置かれた。天山ウイグル王国時代の寺院が残る
	8	碎葉城(アクベシム)	KG	ソグド人の都市として建設され、唐代には前線基地として繁栄した
	9	バラサグン(プラナ)	KG	11世紀のミナレット、プラナの塔が残る都市遺跡。カラハン朝の首都
	10	ネヴァクト(クラスナヤ・レーチカ)	KG	トルコ、インド、ソグドなど多様な文化の痕跡が残る都市遺跡
	11	カヤリク	KZ	8~14世紀にイリ渓谷の最大都市として発展。モスクなども残る
交易拠点	12	タルガル	KZ	8~13世紀に栄えた交易地。仏像、コランなどが発掘されている
	13	アクトベ	KZ	商人、技術者の集まる文化の中心地として7~13世紀に繁栄
	14	クラン	KZ	8~13世紀の書物に記録の残る交易地。長大な壁跡や城跡が残る
	15	オルネク	KZ	8~12世紀にかけて、遊牧民と開拓者の交易を示す遺跡が残る
	16	アクルタス	KZ	中央アジアでは珍しい石造りの宮廷、城塞建築が数多く残る
	17	コストベ	KZ	タラス渓谷における文化と商業の要衝として6~12世紀に発展した
	交通および防衛施設	18	新安县漢代函谷関	CN
19		石壕地区崑函古道	CN	漢代から唐代、長安と洛陽を結ぶ重要な道として盛んに利用された
20		鎖陽城	CN	唐代、中原地方と西域を結ぶ重要な交通の要衝であった城塞跡
21		懸泉駅	CN	物資や郵便網の拠点でもあった駅跡。BC2世紀初めに設置された
22		玉門関	CN	漢代に武帝が河西回廊防衛のために建設したとされる関所跡
23		キジルガハ烽火台	CN	クチャの北西約12kmにある烽火台(のろし台)跡。高さ約13m
24		カラメルゲン	KZ	9~13世紀に栄えた農耕集落。バルハシ地方の交通の要衝だった
宗教施設	25	キジル(克孜尔)石窟寺院	CN	西域に残る最古級の石窟寺院。235の石窟に計1万㎡の壁画が残る
	26	スバシ仏教寺院址	CN	3~10世紀に建造。西域で最大、最古の保存状態のよい仏教寺院
	27	炳靈寺石窟寺院	CN	蘭州の南西約100kmにある。4~10世紀にかけて造られた石窟寺院
	28	麦積山石窟群	CN	後秦から清代にいたる王朝により掘削された仏教石窟
	29	彬県大仏寺石窟	CN	5~10世紀に造られた仏教寺院。116の石窟が掘削されている
	30	大雁塔	CN	玄奘が持ち帰った経典などを納めるために652年に建てられた塔
	31	小雁塔	CN	僧・義浄が持ち帰った経典を納めるために建設された塔
	32	興教寺塔	CN	玄奘三蔵の遺骨のほか、その弟子・親基、円測の遺骨を納める舍利塔
*	33	張騫墓	CN	前漢・武帝の使者として西域に赴きシルクロードを開いた張騫の墓

*関連遺跡

は、今回の「シルクロード」が3カ国の「国境を越えた世界文化遺産」として一括で登録されたことだ。さらに、さまざまな形でこの遺産登録のプロジェクトに参加した国は12カ国以上。日本もその中で重要な役割を果たした。今回のシルクロードの世界遺産登録は、日本画家でUNESCO親善大使であった故・平山郁夫氏の「シルクロードとは文化の交流の場、対話の場、平和の道」という

言葉から始まっている(詳細はP18~19)。そうした意味でも今回の登録が、3カ国共同という形で実現できたことの意義は極めて大きいと、山内氏は言う。「私を含め、遺産登録に関わった専門家たちが真に望むのは、21世紀に生きる我々にとってのシルクロードが、交流と対話の道、平和の道として生き続けること。今回の遺産登録が、そうした将来に繋がっていくものと信じています」

出典UNESCO®Conservation Institute of Bingling Cave-Temple Complex



「炳靈寺(へいれいじ)石窟寺院」(左表内27)にはおよそ185の石窟が掘削されている。写真は第169号窟の壁面に刻まれた仏龕(ぶつがん)。